

平成30年度 乳幼児教育振興特別事業  
全幼研ワクワクプロジェクト（神奈川） 報告書

「幼児期にふさわしい生活の展開」

提出日 平成30年12月25日  
支部長名 志村雄治

- 実施日 平成30年5月28日（月）  
時間 午後4時 ～ 5時30分
- 共催 なし
- 会場 横浜ジャスト 1号館 8階 会議室（3号室）
- 参加者 会員24名・会員外8名（計 32名）
- 講師 所属・職名 東京家政大学子ども学部子ども支援学科・教授  
名前 岸井 慶子 先生
- 内容  
上記の岸井先生の「幼児期にふさわしい生活の展開」というテーマの講演で、サブテーマが「生活や遊びを通してはぐくむもの」であった。内容についての詳細は、別紙のレジュメの通り。特に、1. 身体的側面への注目 2. 尊敬・尊重を基盤にした関係作り 3. 「総体」としての保育をとらえる 4. 「遊び」の再考（「知」を育てる保育）を通して保育に「よろこび」と「やりがい」を見出す。
- まとめ（成果と課題）  
保育者が、こどもたちの生活や遊びを通して幼児期にふさわしい保育を展開していくにはどうしたら良いのかについて、ご自身の実践の中からわかりやすくお話しして頂き、参加者は自分の保育を振り返りながら、とても良い研修になったと思う。そして、もう少し時間をかけて、お話しして頂きたかったとの感想が多かったので、できれば、来年も講演をして頂きたいと考えている。

○上記の内容を含め、A4版2枚程度の報告書にまとめてください。